

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	うんどう☆ことばの教室				
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2026年 1月 31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数)	40	
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2026年 1月 31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日				

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援員を人員配置基準を超えて配置している。	保護者様が安心して子供たちを預けられるように、また、安全を担保できるように支援員を多く配置している。	昨年に引き続き、内部研修、外部講師による研修を実施し、支援員の質の向上を図っていく。
2	療育の目的別に十分なスペースを確保している。	療育の目的別にお部屋を色分けし、子供たちが視覚的に何をすればいいのかを理解できるようにしている。	活動できる部屋にカーテンを付け、他の部屋の様子を気に取られないような工夫を行っている。
3	多職種の支援員によるきめ細かな支援の提供が出来ている。	支援員のスキル、経験をお互いに学べるようにしている。	昨年に引き続き、支援員や外部講師による勉強会を開催し、多くを学べるようにしていく。
4	同じ法人内に相談支援事業を新設した。	他の相談支援事業所とのつながりを継続していきながら、必要に応じて弊社の相談支援につなげることで、スピーディに支援の提供を行えるようにする。	関係機関などへの周知を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全計画や事業継続計画（BCP）でとりまとめた、事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルに従って、訓練や研修を実施しているが、実際に緊急事態が発生した場合に、利用者ならびに従業員の安全を担保しながら、速やかに対応できるよう、保護者・従業員他への周知と訓練が十分できていない。	安全計画や事業継続計画（BCP）の周知が十分でない。	半年に1回、安全計画や事業継続計画（BCP）の検討会を開催し、実効性のある安全計画や事業継続計画（BCP）にしている。
2	相談支援事業所を併設している。	相談支援事業所としての経験不足があり、放課後等デイサービスでの困りごとに素早く・的確に対応できるか不安がある。	相談支援事業所としての経験を積み重ね、利用者様・保護者様の困りごとに素早く・的確に対応できるように努力していく。